



療育とは・・・「丁寧な子育て」です

児童発達支援センターやまもも園ではいろいろな経験をする中で、意欲を育み自信がもてるように、一人一人に合わせた支援を行って発達を促していきます。

やまもも園での発達とは・・・毎日の生活の中で、大人に「してもらおう」事から「自分でする」ことが増えていく過程と考えます。

いろいろな経験

あそび

身体を動かすこと

つかまる、くぐる、渡る、登る、降りる、揺らす、まわる、跳ぶなど身体を使った遊びをする中で身体の使い方や止め方を学びます。

- ・エアポリン・揺れる遊具・ボールプール
- ・巧技台・集団遊び・白布あそび・戸外遊びなど

手をつかうこと

ちぎる、丸める、つかむ、握る、はさむ、持つ、描くなど細かな動きを要する遊びをする事で、手先の巧みさを養っていきます。

※色々な遊具や道具、素材に触れて遊びます。

生活

睡眠 排泄 食事 着脱



繰り返し丁寧に関わっていく中で「自分でできた」と、自信がもてる場面をたくさん作っていきます。

生活リズムの安定

快眠 快便 快食

親子関係を基本として

「大好き」「一緒にいたい」「安心する」という関係を築けるように、一緒に遊ぶ中で、欲求を満たし好奇心を育んだり、簡単なやり取りをしたりする機会を作っています。

次のステップとして

親以外の身近な大人(担任など)とでも、安心できる。

友達は、どんなことをしているかな？など、興味や関心が広がる。

※ステップを踏みながら、経験の場を広げていきます。

やまもも園では

「育ちの土台」作りを大切にしています。

この人といると この場所なら

安心

育ちの土台が培われていく中で、いろいろな事に興味をもってやってみようしたり、頑張りを認められることで自信につながったりします。